

第46回「てのひら文庫賞」岐阜県読書感想文コンクール

最優秀賞・岐阜県教育委員会賞 作品

最優秀賞・ 岐阜県教育委員会賞

2年自由図書部門／読んだ本・ことばのかたち

カラフルにいこう

岐阜市立華陽小学校 天野希香

わたしは学校でともたちとけんかをしたとき、うまくことばで気もちをつたえられず、だまつてしまつたことがありました。もしそのとき、ことばに色や形があれば、あ

うをそそうそして「かう」とが大切だとかんじました。目に見えたらしいのに、ではなく、見えないからあい手のことを考えることがやさしさだとわかりました。

たわっていたかなと思いま
す。この本のように、わたし
の学校では「ことばには「ちく
ちくことば」や「やみことば」
があるとならいました。とげ
のあることばは人をきずつ
けるので、つかわないよう
に気をつけています。

ろもありました。「だれかをまもるためのうそ」が「しづかでやわらかな毛ふになり」というところです。どういう「うそ」ならついていいかな、「うそ」なのに、人をあたためられるのかな?とふしげです。いつかわかりたいな

本を読みすすめるうちに、

わたしの考え方をこしかね
りました。ことばは、話す人
の気もちだけでなく、それを
うけとる人の気もちが大切
だと気づいたからです。自分
の気もちをつたえるために
は、あい手の気もちやはんの

わたしのことははい

たら自分のことはてさえてあげたいです。わたしの話すことばが、これからどんな色や形にかわっていくのか、とてもたのしみです。また、わたしにはともだちがたくさんいます。大好きなともだちのつかうことばは、さくらの花みたいですね。ピンクやオレンジ色のことばをたくさんもらいます。ともだちからいっぱい話を聞いて、カラフルにたのしくすごしていきたいです。